

令和7年度 学校推薦型選抜 人間健康科学部看護学科 小論文

出題の意図と解答の傾向

第1問

【出題の意図】

文部科学省は、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築を目指している。「共生社会」とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。このような社会を目指すことは、我が国において最も積極的に取り組むべき重要な課題である。以上のことを踏まえ、本学科のアドミッション・ポリシー：①人に関心があり、他者と尊重しあう価値観を備えている。②看護や医療に関する専門知識や技術の修得に必要な意欲及び基礎学力を備えている。③柔軟な発想で分析し、論理的思考に基づいて論述できる。④看護職者として社会に貢献する意思や具体的イメージを有している。これらを測るために、病気や障害の有無にかかわらず、社会で共に生きることを考える設問とした。

具体的なアドミッション・ポリシーとの関連は、以下のようである。

看護は、ケア対象者をよく「知ること」が重要となる。この「知ること」とはケアリングの重要な概念の1つにもなっており、他者を尊重する価値観が重要となる。したがってアドミッション・ポリシー①②④に対応するために、自閉症という障害のある著者自身が書いた文章から何を社会に伝えたいとしているのかを解いた。この設問は、文章をよく読み解き、自閉症の障害をもつ著者を「知る」ことが出来なければ、解答できない。設問2では、話せないということを自分に置き換え、論拠させた。これらは、アドミッション・ポリシー③に対応する。また設問1では、あえて昨年とは異なり要約とせずに「・・・社会に伝えたいことは何か、」とした。この理由は、アドミッション・ポリシー③柔軟な発想で論述を分析し、論理的思考から、社会で共に生きることを考える設問とした、ためである。つまり、要約では書いてある内容を記載するだけであり、論述を分析し、論理的思考を測れないと考えたからである。

【解答の傾向】

設問1

全体的には出題の文章をよく読み分析し、設問の問いに解答している受験生と、文章をよく読んでいない、または文章を分析しないで、設問の問いに解答している受験生に分かれた。高得点者は問題をよく読み、「著者が社会に伝えたいことは、」を主語にして書き出し、社会に伝えたいことを端的に明確に述べたあと、その理由を論拠している。または最初に理由を述べ、著者が社会に伝えたいことを明確に記載していた。

低得点者は、文章の要約になっており、「・・・と述べている」と出題の文章そのものを繰り返し記載しており、何を社会に伝えたいのか明確にされていなかった。または単に文章をそのまま羅列していた。したがって著者が何を社会に伝えたいのかということが分析されていなかった。低得点者は、受験生が文章を読み込めていないために、「自閉症という障害のある著者」を「知る」ことができないため、人間健康科学部看護科のアドミッション・ポリシーに合致しない。昨年の設問が要約という言葉を使用しており、受験生はそれに引っ張られた可能性も考えられる。

設問 2

設問 2 も同様に、出題の文章をよく読み分析し、設問の問いに正確に解答している受験生と、文章をよく読んでいない、または文章を分析しないで、設問の問いのみに対応して解答している受験生に分かれた。高得点者は、著者は「話せない」のは自閉症という病のために器質的に話せないということを理解して、自分に当てはめて記載していた。一方低得点者は、著者の話せないことを理解せずに、「・・・怖い先輩がいると話せない」「・・・発表会などで緊張すると話せない」など、環境要因（人的・物理的）のために話せないことを記載していた。

第 2 問

【出題の意図】

英語の読解力と日本語の表現力を測る問題とした。出題した問題は、地球温暖化が健康に影響しているという英文・グラフ（www.lancetcountdown.org のホームページに掲載）とした。地球温暖化は、人為的影響によるものも大きいとされる。地球温暖化は社会問題としても取り上げられている問題である。

英文の内容を理解し設問に回答するためには、英語の文法や単語、地球温暖化などの社会的な背景の知識が必要である。それらを踏まえて、日本語で適切に表現することが求められる。これらの能力を有しているかを確認する問題とした。

設問 1 は、英文に書かれている英文やグラフから読み取れることを問う問題とした。

設問 2 は、英文とグラフから読み取れることに対しての解決方法について、本学科のアドミッションポリシー「③柔軟な発想で分析し、論理的思考に基づいて論述できる」について、自分が取り組める内容を考え、記載する問題とした。地球温暖化への対策について日ごろから関心を持ち、自分ごととして対策について考えたことがあれば、回答できる問題とした。

【解答の傾向】

設問 1 は、英文の分量はそれほど多くなく、ほとんどの英文の文法はわかりやすいもので

あった。地球温暖化が健康に悪影響を与えていることは、英文から読み取れている受験生が多かった。一部の受験生は、heat と heart の読み間違いにより内容の理解ができていなかった。グラフの読み取りについては、説明の英文の意味を読み取れず、内容が正しく理解できていない受験生がみられた。

設問 2 は、受験生の多くは、英文やグラフから読み取れたことに対する対策として、自分に取り組める対策を記載できていた。ほとんどの受験生は地球温暖化への対策を記載していた。社会問題の一つとしての地球温暖化に関心を持ち、それへの対策について日ごろから考えていることが伺えた。